資料６－１

阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会　第３回検討会

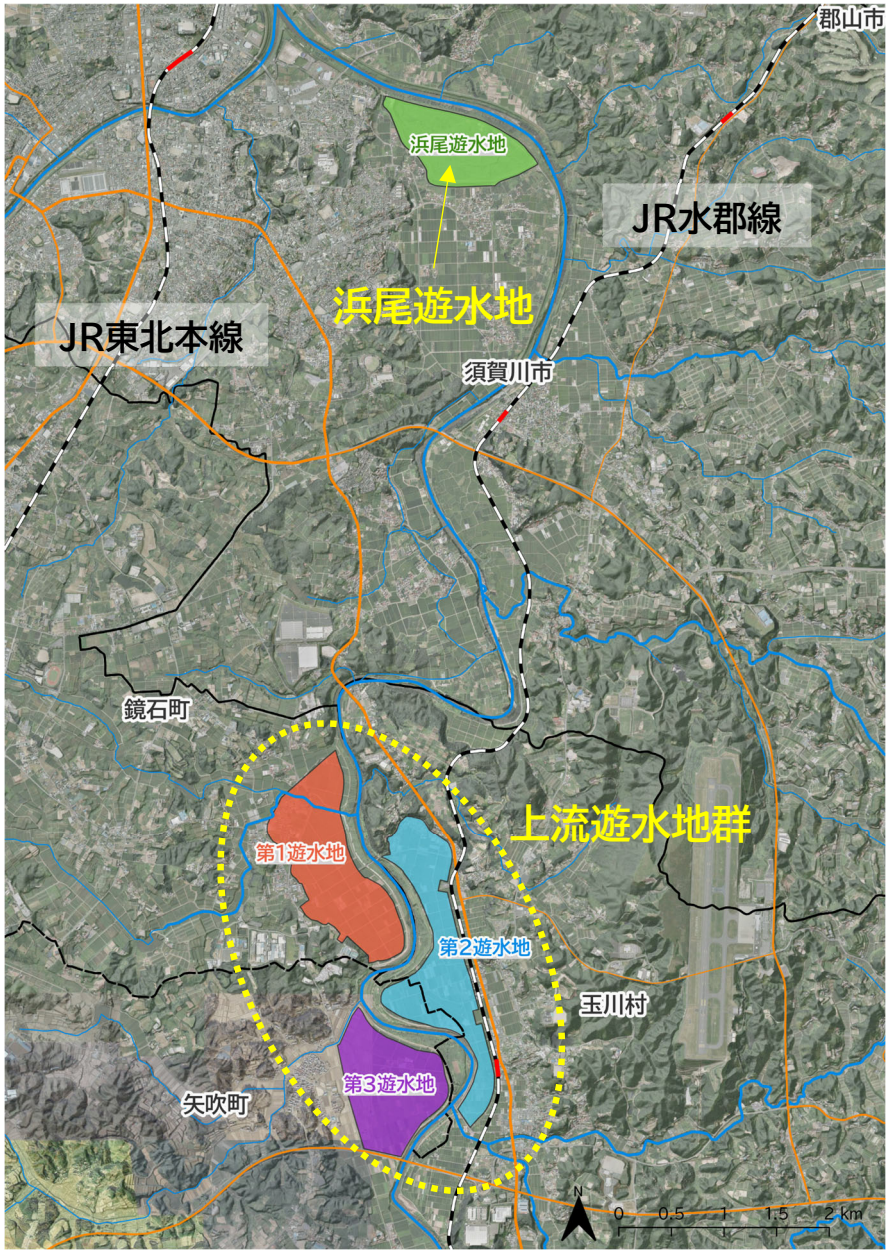
浜尾遊水地における官民連携の取組

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

1. 浜尾遊水地における官民連携の取組概要(予定)

事業の目的	地域振興に資する持続可能な 地内利活用を推進する
事業手法	官民連携による利活用
事業対象地	浜尾遊水地の一部
事業範囲	占用施設の設置 占用施設及び占用する遊水地 (一部)の維持管理・運営
事業期間	調整中(10年～程度を想定)
費用負担	独立採算型(調整中)



■事業対象地の位置

2. 今後の進め方

今後の進め方としては以下を想定。

【R8～R9】 基礎調査（日本PFI・PPP協会によるヒアリング調査）の実施（※一部R7先行実施）

→ 次スライドに基礎調査の概要について記載

民間ニーズ調査、概ねの利活用の方向性（内容・規模）確認

利活用に係る協議会設立、都市・地域再生等利用区域指定の検討

事業者募集・選定準備

【R10】 事業者募集・選定・契約締結

【R11～】 上面整備に係る計画・設計・施工、供用

3. 基礎調査(浜尾遊水地利活用に係るヒアリング調査)について

3.1 ヒアリング調査実施概要

- ヒアリング調査は、**2025年11月下旬～2026年1月下旬**に特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会が実施。
- ヒアリング対象は、浜尾遊水地の地元近隣自治体である、須賀川市・郡山市内の行政機関、地域団体、その他ドローン活用や再生可能エネルギーに関連する企業等に実施。
- ヒアリング内容は、「**浜尾遊水地での利活用及び官民連携事業の実施可能性**」とした。

3.2 ヒアリング対象者(計17者)※実施順

須賀川市	行政・地域団体	・須賀川市、 商工会議所　等　9者
郡山市	行政・関係団体	・郡山市、 農業組合　等　2者
その他	民間企業等	・大手エネルギー企業　等　6者

3.3 現状と実現可能性

- 過去に2回の満水を経験(現状)
- 計画上は10年に1回の冠水頻度であるが、有事にはいつでも水が流入するリスクがある。(現状)
- 事業の採算性を検討するなど、実現可能性及び条件付きによる実現可能性について回答を得た。
- 民間は大手企業も関心を示していることが確認出来た。
- 浜尾遊水地は今後の上流遊水地モデルケースとなる位置づけにある。

ＰＦＩ協会植田会長 現地視察状況

視察趣旨

■遊水地内の民間活用（ＰＦＩ事業）を検討していくにあたり、ＰＦＩ協会の植田会長と現地視察を実施した。

日時等

■日時　：令和7年10月15日（水）12：30～17：00
■場所　：浜尾遊水地、阿武隈川上流遊水地群、乙字ヶ滝、乙な駅たまかわ
■参加者：日本ＰＦＩ・ＰＰＰ協会　植田会長兼理事長
本　局　河川計画課 須藤建設専門官
事務所　望月事務所長、畑井副所長
河川管理課　猪股課長
阿武隈川上流緊急治水対策出張所　小川所長
郡山出張所　菊地所長

視察状況





▲植田会長視察の様子

植田会長の所感

【PPP/PFI事業成功へのポイント/アドバイス】
●今後のプロセスの中で民間企業参入の折、**地域にいち早く受け入れていただけるよう配慮が必要**。
●どのような業種や地域の方々がどのように関わるかヒアリングが必要。近隣であれば須賀川市、郡山市など。流域外では仙台市など参入を視野に検討を進める。
●サウンディング前に地域の声を聞くワークショップも必要である。一方、一部の人から実現が難しい意見が出ることもよくある。そのような意見は否定をせず、その意見に対する実現への過程やリスクを丁寧に説明したうえで、できること、できないことを理解いただく姿勢が大事。その上で、**リスクの少ない利活用を選択**する。
●ＰＦＩの失敗事例としては地元の理解や協力が得られないことが要因となる。いかに**地元と連携するかが大事**。
●次年度以降もPFI協会として地域に根ざし、この事業に対して協力を惜しまない。
●利活用の見える化として先に施設を整備する考えもある。遊水地計画のある埼玉県上里町では、遊水地完成前に国で一部エリアをコンクリートで整備し、滑走路として活用する検討も進めている。
●その意味で、浜尾遊水地での先行した取り組みは非常に重要。

【浜尾遊水地】
●人を呼び込む際トイレが必要。遊水地の中でも外でも良いが、流入樋門の建屋付近に国でトイレを整備することが望ましい。
●浜尾遊水地周辺の環境に係る基礎データを提供願いたい。

【上流遊水地群】
●**まちづくりのビジョン、都市マスなどを十分に把握したうえで具体な検討**に入りたい。
●利活用検討会での議論や、**地域のニーズを十分把握**したい。なにより、**３町村の首長のみなさまや役場のご担当と意見交換**をさせていただきたい。

、